

RoHS Compliant [Cd ≤75ppm]
 REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
 PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

7	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni		尺度 3/1	製図	検図	承認	確認	品名 SMAP-55A
6	中心コンタクト	黄銅	1	Au			渡邊	檜	山	三	
5	シェル	黄銅	1	Ni		単位 mm	'16,11,30	'16,11,30	'16,11,30	'16,11,30	図番 S-1114003
4	絶縁体	テフロン	1	--			直弘	澤	本	村	
3	保持リング	ステンレス	1	--		日付 2016.11.30	投影法		株式会社 トーコネ TO-CONNE CO.,LTD.		
2	ガスケット	シリコンゴム	1	--							
1	接続ナット	黄銅	1	Ni							
番号	部品名	材質	数量	処理	備考						

仕 様 書

品 名 SMAP-55A

No. 1111864

図 番 S-1114003

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5234

2 定格電圧 AC 500V

3 定格周波数 8GHz

4 公称インピーダンス 50Ω

5 使用温度範囲 -40℃～+85℃

6 使用湿度範囲 95%RH以下(結露無きこと)



株式会社

トーコネ

TO-CONN CO., LTD.

	項 目	条 件	規 格		
1 2 3	構造形状 構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番：S-1114003)	異常のないこと		
		絶縁抵抗		DC 500V	5000MΩ以上
		電 氣 的 特 性		耐電圧	AC 750V 1分間
6	接觸抵抗	接觸間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下		
7	電圧定在波比	DC～1GHzまで 1GHz～8GHzまで	1.2以下 1.4以下		
8	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること	
9		ケーブル接続強度	軸方向引張力98Nを加えたとき	ねじ部に 異常のないこと	
10		結合部接続強度	軸方向引張力180Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと	
11		適合ケーブル	RG-55/U、RG-55A/U		

	変更履歴	日付
1	定格周波数、使用湿度範囲、電圧定在波比 追記	2024. 03. 15
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
三 24.03.15 村	山 24.03.15 本	檜 24.03.15 澤	井 24.03.15 出

GKQM-7

SMAP-55A 取付仕様書

適合ケーブル

RG-55/U , RG-55A/U

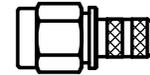
専用圧着工具
 TA-34 (本体表示: DCC 1113)
 TA-35 (本体表示: 53-8242)

図番 S-1114003



作成	確認
 榎 '12.07.11 澤	 山 '12.07.11 本

部品構成



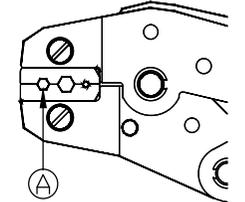
シェル



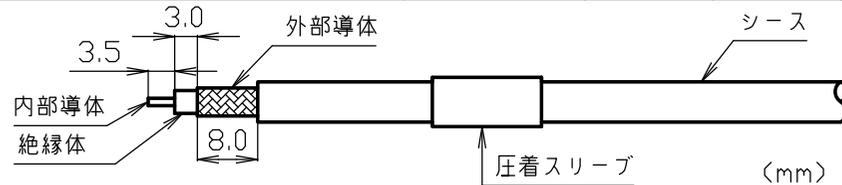
中心コンタクト



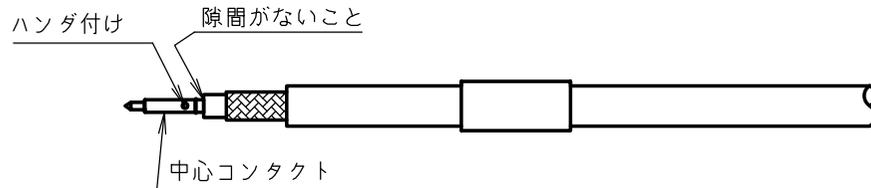
圧着スリーブ



番号	変更・記事	日付
▲	社名変更	2012.07.11
▲		

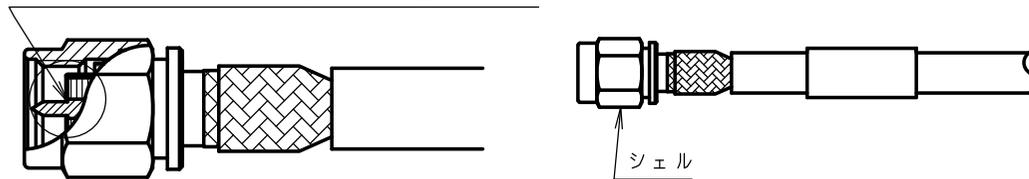


① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、内部導体、絶縁体、外部導体、シースを図中の寸法で切りとる。

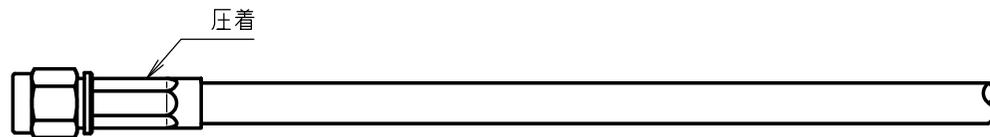


② 中心コンタクトを内部導体に装着して、ハンダ付けをする。
 注意 1.ハンダが盛り上がらないこと
 2.中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと
 参考 ハンダこて20W ハンダφ0.6mm
 ハンダ付け後、中心コンタクトを引っ張り抜けないかを確認すること。

中心コンタクトの段と絶縁体の面を、ほぼ同じ高さにする。
 中心コンタクトの段は、絶縁体より出ないこと。



③ シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に挿入する。
 注意：
 中心コンタクトの段と絶縁体の面がほぼ同じ高さにする。
 押し込み過ぎて、中心コンタクトの段が絶縁体より出ないこと。



④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を終了する。